

万能の天才
革命的な大壁面に挑む！

Leonardo da Vinci
and The Battle of Anghiari

レオナルド・

ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展

～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

休館日 | 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、第4火曜日

※1/15[月]、1/22[月]、1/23[火]、1/29[月]、2/5[月]、2/13[火]、2/19[月]、2/26[月]、2/27[火]、3/5[月]、3/12[月]、3/19[月]

開館時間 | 9時30分～17時(入場は16時30分まで)

主催 | 名古屋市博物館、中日新聞社 特別協力 | イタリア文化財・文化活動・観光省美術館総局、ウフィツィ美術館

後援 | 外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、フィレンツェ市、名古屋日伊協会

協力 | NHKエデュケーショナル、アリタリア-イタリア航空、日本航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス 企画協力 | 東京富士美術館

名古屋市博物館 〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 TEL 052-853-2655 FAX 052-853-3636 <http://www.museum.city.nagoya.jp/>
おでかけは公共交通機関で。名古屋駅から17分。地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から徒歩5分。

2018
1/13
SAT
3/25
SUN

NAGOYA CITY MUSEUM
名古屋市博物館

中日新聞



Ministero dei beni e delle attività culturali e del turismo



Ambasciata Italiana in Giappone



GALLERIE DEGLI UFFIZI



名古屋会場オフィシャルサイト <http://www.chunichi.co.jp/event/davinci/>

作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《タヴォラ・ドーリア》(部分) 16世紀前半 ウフィツィ美術館蔵(東京富士美術館より寄贈)
Ex S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze-Gabinetto Fotografico

ダ・ヴィンチ展 名古屋 検索

レオナルド × ミケランジェロ

ルネサンスの二大巨匠 幻の競演

フィレンツェのシニョーリア宮殿(現パラッツォ・ヴェッキオ)を飾っていたレオナルド・ダ・ヴィンチによる未完の大壁画「アンギアーリの戦い」。《タヴォラ・ドーリア(ドーリア家の板絵)》は、レオナルドが描いた壁画の様子を最もよく伝えると言われる16世紀前半の油彩画です。本展では、日本初公開の《タヴォラ・ドーリア》を中心に、壁画の模写や派生作品、またレオナルドの多岐にわたる活動を紹介し、残念ながら今は失われてしまった壁画の謎と魅力に迫ります。さらにミケランジェロがレオナルドと同じ場所に構想した壁画の下絵の模写《カッシナの戦い》(日本初公開)を加え、ルネサンスの二大巨匠による競演の実現を目指します。後世に絶大な影響を与えた天才ふたりの大壁画構想。美術史上に刻まれた一大スペクタクルを是非ご体感ください。

● 展覧会情報

タイトル	レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 ～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～
会場	名古屋市博物館 1階 特別展示室・部門展示室
会期	平成30年(2018)1月13日(土)～3月25日(日)
休館日	毎週月曜日(ただし2/12は開館、翌2/13休館)、第4火曜日 1/15[月]、1/22[月]、1/23[火]、1/29[月]、2/5[月]、2/13[火]、2/19[月]、 2/26[月]、2/27[火]、3/5[月]、3/12[月]、3/19[月]
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)
観覧料	一般1,300(1,100)円 高大生900(700)円 小中生500(300)円 *()内は前売および20名以上の団体料金。 *お得な前売り券は1月12日(金)まで、名古屋市博物館、中日新聞販売店、主要プレイガイド、主なコンビニエンスストア、チケットぴあ(Pコード768-614)、ローソンチケット(Lコード45103)、セブンチケット(http://7ticket.jp)、イープラス(http://eplus.jp/)などで販売。 *名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用してご来館の方は当日料金より100円割引。 *身体等に障害のある方または難病患者の方は、手帳または受給者証のご提示により、本人と介護者2名まで当日料金の半額。 *各種割引は重複してご利用いただくことはできません。ご了承ください。
展示点数	51点
	主催 名古屋市博物館、中日新聞社 特別協力 イタリア文化財・文化活動・観光省美術館総局、ウフィツィ美術館 後援 外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、フィレンツェ市、名古屋日伊協会 協力 NHKエデュケーショナル、アリタリア-イタリア航空、日本航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス 企画協力 東京富士美術館

名古屋会場オフィシャルサイト <http://www.chunichi.co.jp/event/davinci/>

お問い合わせ先 名古屋市博物館 特別展 レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 広報担当
企画内容については▶横尾 資料提供や広報に関する事項については▶竹内、山田まで
〒467-0806 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 TEL:052-853-2655 FAX:052-853-8400
URL:<http://www.museum.city.nagoya.jp/> E-mail:ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp

見どころ

1 レオナルド × ミケランジェロ 二大巨匠の競演



作者不詳 (レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく) 《タヴォラ・ドーリア (「アンギアーリの戦い」の軍旗争奪場面)》16 世紀前半 フィレンツェ、ウフィツィ美術館蔵 (東京富士美術館より寄贈) Ex S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze-Gabinetto Fotografico



アリストーティレ・ダ・サンガッロ 《カッシナの戦い》(ミケランジェロの下絵による模写) 1542 年 ホウカム・ホール、レスター伯爵コレクション
By kind permission of Lord Leicester and the Trustees of Holkham Estate, Norfolk, UK

※会期後半より展示。前半は複製の展示となります。

日程の詳細は、後日展覧会公式サイトにてお知らせいたします。

16 世紀の初頭、フィレンツェ共和国政府は、政治の中心シニョーリア宮殿の大評議会広間 (現パラッツォ・ヴェッキオ五百人大広間) に壁画を描く計画を立てます。選ばれたテーマはフィレンツェが周辺の都市に勝利した栄光の戦い「アンギアーリの戦い」(対ミラノ) と「カッシナの戦い」(対ピサ)。選ばれた画家は、フィレンツェ領内出身のレオナルド・ダ・ヴィンチ (1452-1519) とミケランジェロ・ブオナローティ (1475-1564) でした。ところが、レオナルドは壁画に適した油絵具の調整に手間取り、ミケランジェロは下絵制作の途中でローマ教皇に招聘され、二人の競演は幻に終わってしまいます。

二人は一体どのような壁画を描こうとしたのでしょうか。幸いなことに未完のまま放置された壁画の模写、あるいは原寸下絵の模写が現在に伝えられています。本展で展示される《タヴォラ・ドーリア (アンギアーリの戦いの軍旗争奪場面)》《カッシナの戦い》はレオナルドとミケランジェロ、天才二人の構想を知ることができる貴重な 16 世紀の板絵です。本展では、日本初公開となる両作品を合わせて展示することで、「ルネサンス二大巨匠の直接対決!」をこの現代に実現させることを目指します。

◎「アンギアーリの戦い」と「カッシナの戦い」について

アンギアーリの戦いとは、1440 年にトスカーナの丘陵地帯にあるアンギアーリ村で起きた同地の橋をめぐるミラノ軍とフィレンツェ軍 (ヴェネツィア及びローマ教皇軍との連合軍) の戦いです。この戦闘の勝利によって、フィレンツェはミラノの脅威から脱することが出来たと言われています。レオナルドは、連合軍がミラノ軍から軍旗を奪う場面を中心に据えた構成を採用しました。一方、カッシナの戦いは 1364 年、フィレンツェがピサに勝利したピサ郊外での戦闘です。これにより内陸都市フィレンツェは貴重な外港を手に入れます。ミケランジェロは、ピサ軍の強襲に対し、水浴中だったフィレンツェ軍が素早く戦闘準備に入る瞬間を描こうとしました。



見どころ

2

天才レオナルドによる 視覚革命の追体験



ピーテル・パウル・ルーベンスに帰属（レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく）《アンギアーリの戦い》17世紀初頭 ウィーン美術アカデミー絵画館蔵
Gemäldegalerie der Akademie der bildenden Künste Wien

レオナルドによって鬼気迫る革新的な戦闘表現が採用された「アンギアーリの戦い」。壁画自体は未完に終わりましたが、その後、壁画はしばらく放置されたため、多くの画家がレオナルドの壁画に学び影響を受けたとされています。本展では、レオナルドによる「アンギアーリの戦い」に影響を受けた作品を展示することで、一人の天才が絵画の歴史を一変させた様子を実感していただきます。あわせて画家レオナルドがなぜ天才と呼ばれたのか、その類い稀なる構想力と描写力に思いを馳せていただきます。

見どころ

3

魅惑的な女性像も合わせて鑑賞



作者不詳（レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく）《レダと白鳥》1500-10年頃 フィレンツェ。ウフィツィ美術館 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



作者不詳（レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく）《聖アンナと聖母子》16世紀 フィレンツェ、ウフィツィ美術館 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi

《モナ・リザ》（ルーブル美術館蔵）に見るとく、レオナルドは美人画においても数々の革新的な試みを行い、後世に多大な影響を与えました。傭兵たちが激しい戦いを繰り広げる戦闘画とは趣きが180度異なる優美な世界。とりわけ女性の表情には魅惑的な美しさが感じられます。本展では、《レダと白鳥》をはじめ、ウフィツィ美術館が所蔵する模写作品を中心に、画家レオナルドが美人画の世界で成し遂げようとした世界にも迫ります。

同時開催「天才ダ・ヴィンチのひみつ」コーナー

芸術、建築、科学、生物学、物理学、
軍事技術など幅広い分野で功績を残
した「万能人」レオナルド・ダ・ヴィ
ンチ。レオナルドの構想に基づく飛行
機やヘリコプターなど様々な機械の



はばたき飛行機 模型（パリ手稿Bに基づく） 栃木市蔵

再現模型を中心に、複製画を交えながら、レオナルドの多才ぶりを分かりやすくご紹介します。
レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展の会場内にて開催します。

●関連事業

*手話通訳・要約筆記など特別なサポートを必要とする方は、記念講演会の場合は応募時に、展示説明会の場合は当日の
2週間前までに名古屋市博物館（電話 052-853-2655 FAX 052-853-3636）までご相談ください。

<p>記念講演会 1 *要事前申込</p>	<p>「タヴォラ・ドーリアとの対話」</p> <p>日時 1月13日(土) 13時30分～15時 (開場 13時)</p> <p>講師 ^{ごきた あきら}五木田 聡氏 (本展監修、東京富士美術館 館長)</p> <p>場所 名古屋市博物館 地下1階 講堂 (定員 220名)</p> <p>*事前応募の申込方法は往復はがき、または名古屋市電子申請サービスにて。 応募者多数の場合は抽選になります。申込方法の詳細、募集期間については、 展覧会オフィシャルサイトにてお伝えいたします。</p> <p>*記念講演会は無料ですが、聴講には本展チケット (観覧済み半券可) が必要です。</p>
<p>記念講演会 2 *要事前申込</p>	<p>「レオナルド・ダ・ヴィンチと《タヴォラ・ドーリア》」</p> <p>日時 2月11日(日) 13時30分～15時 (開場 13時)</p> <p>講師 ^{ごしかわ みちあき}越川 倫明氏 (本展学術監修、東京藝術大学 教授)</p> <p>場所 名古屋市博物館 地下1階 講堂 (定員 220名)</p> <p>*事前応募の申込方法は往復はがき、または名古屋市電子申請サービスにて。 応募者多数の場合は抽選になります。申込方法の詳細、募集期間については、 展覧会オフィシャルサイトにてお伝えいたします。</p> <p>*記念講演会は無料ですが、聴講には本展チケット (観覧済み半券可) が必要です。</p>
<p>展示説明会 *申込不要</p>	<p>レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展の見どころ</p> <p>本展の見どころを分かりやすく紹介します。聴講無料、本展チケットも不要です。</p> <p>日時 1月27日(土)、28日(日) 13時30分から 30分程度 (開場 13時)</p> <p>講師 名古屋市博物館 学芸員</p> <p>場所 名古屋市博物館 1階 展示説明室 (当日先着 80名)</p>

広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展

～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

平成30年(2018) 1月13日(土)～ 3月25日(日)

- 広報用画像の使用は、レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展を紹介する場合に限ります。
- 展覧会終了後の使用、または二次利用はお断りします。
- 広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。
- 広報用画像は全図で使用してください。部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、承諾が必要となります。
- 掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記の広報担当までお送りください。

貴社についてお知らせください

貴社名	媒体名
ご住所 (〒)	
ご担当者名	所属部署
TEL	FAX
E-mail	

掲載紙誌の発行日・放映の予定日が決まっておりますお知らせください。 年 月 日

【個人情報の取扱いについて】 ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より今後の展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、希望する 組 名分
 読者向けチケット(5組10名分まで)を提供します。希望しない

※原則として掲載紙・誌(webの場合は掲載アドレス通知のメール)が広報担当に到着し、確認させていただいてから発送いたします。

希望の画像のに✓してください。

※資料名は以下の名称を省略せずそのままご使用ください(欧文のフォトクレジットも同様です)。

1 作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《タヴォラ・ドーリア》
 ウフィツィ美術館 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



2 アリストーティレ・ダ・サンガッロ《カッシナの戦い》(ミケランジェロの下絵による模写)レスター伯爵コレクション By kind permission of Lord Leicester and the Trustees of Holkham Estate, Norfolk, UK



3 ピーテル・パウル・ルーベンスに帰属(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《アンギアーリの戦い》
 ウィーン美術アカデミー絵画館 Gemäldegalerie der Akademie der bildenden Künste Wien



4 北郷悟、木本諒、井田大介、布山浩司、大石雪野、横川寛人、宮田将寛 《タヴォラ・ドーリア》の立体復元彫刻 東京富士美術館 ©Tokyo Fuji Art Museum



5 作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《レダと白鳥》ウフィツィ美術館 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



6 作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)《アンナと聖母子》ウフィツィ美術館 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



7 クリストーフアノ・デッラルティッシモ《レオナルド・ダ・ヴィンチの肖像》ウフィツィ美術館 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



8 クリストーフアノ・デッラルティッシモ《ミケランジェロの肖像》ウフィツィ美術館 Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi

